

## 主催事業

### キャンプ補助員トレーニングキャンプ

#### 1. ねらい

- (1) キャンプ補助員の業務、心得について再確認し、理解を深めます。
- (2) 施設内の植物に対する知見を深め、支援に活用できるようにします。
- (3) 野外炊飯における支援、特に利用団体からの支援希望の多いキャンドルサービスの資質の向上を図ります。
- (4) 所員とキャンプ補助員との関係を深めるとともに、利用者に対する支援の意思統一を図ります。

#### 2. 実施日

令和7年10月12日(日)

#### 3. 対象者

当センターのキャンプ補助員登録者及び希望者  
(大学生・短期大学生・専門学校生等)

#### 4. 募集定員/応募人数/参加人数

10人/1人/1人

#### 5. スケジュール

9:15 入所式
9:30 自己紹介・アイスブレイク
10:00 自然観察とセンター案内
11:15 火付け・飯ごう炊飯 昼食
13:30 キャンドルサービスの企画と運営
14:30 キャンプ補助員ワーク体験
15:30 退所式・ふり返り
16:15 退所

#### 入所式・自己紹介・アイスブレイク

現役キャンプ補助員7名、一般参加者1名の計8名で「キャンプ補助員トレーニングキャンプ」を実施しました。アイスブレイクでは、現役キャンプ補助員も今まであまり体験してこなかったゲームなどを実施しました。実際に子どもの前でゲームをする際には、年齢層を考えてゲームの難易度を変更する大切さについて学びました。ゲームが進むにつれ、実際に自分たちの緊張が和らいだのか、笑顔が増えていきました。アイスブレイクの大切さを感じてもらえたと思います。

#### 自然観察とセンター案内

その後、センター内の案内とともに、秋を感じてもらう自然観察を実施しました。バッタ釣りやとんぼの捕まえ方などを実践しました。また、ムカゴやアケビ、ガマなどの植物を楽しそうに観察していました。より自然に興味を持ち、親しみを感じてもらう機会になったと感じました。



#### 火付け・飯ごう炊飯

昼食は飯ごうでお米を炊きました。火起こしセットで火種から作りました。初めて火起こしに成功した喜びを感じるとともに、チャッカマンや新聞紙などありふれた道具のありがたみを感じたという感想を聞きました。



#### キャンドルサービスの企画と運営

昼食後は、キャンドルサービスについての知識を学び、実際に実施しました。キャンプファイヤーは経験したことがある在籍キャンプ補助員は多いですが、キャンドルサービスはほとんど初めてだったため、多くの学びがあったようです。初めての参加者も楽しみながらキャンドルサービスのゲームに参加していました。

#### 6. まとめ

今まで経験したことのないゲームや自然との関わりをしたため、多くの参加者にとって有意義な時間になったと感じます。普段経験しないことは、刺激的で各分野への興味を高めてくれるものだと感じました。どの参加者も笑顔が絶えず、最後まで楽しそうに活動していました。